

学校評価だより



～最終自己評価～

令和4年2月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和3年度最終期の学校評価として、生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。2学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせ致します。

今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭や地域の皆様のご協力をお願いしなければならないものもございます。何卒、本校の教育活動をご理解の上、ご協力をお願い致します。

本校の教育目標 ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す生徒像 ◇確かな学力を身に付けた子(知育) ◇思いやりがあり心豊かな子(徳育) ◇健康・安全を育み守る子(体育・食育)

本年度重点項目

(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成 (2) 思いやりのある、豊かな心をもった子の育成 (3) たくましい体力と気力をもった子の育成 (4) ふるさとを愛する心をもった子の育成 (5) プロ意識をもち、信頼される教師集団

(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

○昨年度から取組を続けている、対話を取り入れた学習活動や板書の工夫は継続的に行われています。【教職員Ⅱ-1, 2】

▲学力向上プランⅢ期の重点となっている、「自分の考えの根拠や理由を明確にして説明している」には課題があります。教職員アンケートではC評価となっていますが、児童生徒アンケートではB評価となっておりギャップがあります。教職員と児童生徒が目指す姿を共有できていません。【教職員Ⅱ-3】

▲家庭学習の取り組み状況は依然として大きな課題が残っています。【児生5, 保護者3】



《改善策》

◇授業において指導したことが、児童生徒の姿として現れるように、検証方法やアンケート項目を学期初めに設定し、対策や指導方法を共有しながら取り組みます。校内研修で時間を確保し、検証問題を選ぶ時間などを設定します。

◇家庭学習チャレンジ週間のシートを時間よりも学習内容の質が高まるように内容を改善し、保護者との連携も図っていきます。

(2) 思いやりのある、豊かな心をもった子の育成

▲あいさつは、教職員や児童生徒のアンケートでは、できていると考えていますが、保護者アンケートの後期ブロックでは、C評価となっています。【保2】

▲自問清掃についても、教職員ではまずまずですが、児童生徒では、前期ブロックがC評価となっています。【児生11】

▲児童生徒理解については、前期ブロック保護者の評価が下がっています。【保7】



《改善策》

◇あいさつについて、学校や地域(外)でのあいさつ・返事と家庭でのあいさつ・返事の違が出ていることが考えられます。質問や回答の方法を変えることを含めて、あいさつの励行に努めます。

◇自問清掃について、後期ブロックに責任感を持たせ、前期ブロックがきちんと掃除できるようにするため、たてわりチームでの清掃も検討していきたいと思ひます。

◇児童生徒理解について、いじめや問題行動の早期発見・未然防止に努めていきたいと思ひます。また、普段からの連絡を密にし、安心感を高めていきたいと考えています。

(3) たくましい体力と気力をもった子の育成

▲インターネット機器に関する項目、5定点に関する項目は全体を通して結果に改善が見られません。【児生14~16】

▲5定点を意識できていない児童生徒の割合が、学年全体的に多くなっています。【児生16】

▲朝食について、あまり食べていない児童生徒が増えています。【保4】

《改善策》

◇5定点とインターネット機器の使用について深いつながりがあると思われます。インターネット機器の使用については、4月にルールを決め、定期的に確認する場を設けていきたいと考えています。また、



学校・児童生徒・保護者で話し合い、共通理解を図りたいと思ひます。

◇インターネットが5定点のどの部分に影響しているのかをデータに出し共有する場を設け、根拠を提示して指導していきたいと思ひます。

◇朝食については、給食だより等で朝食の大切さや内容についての啓発を行っています。

(4) ふるさとを愛する心をもった子の育成

▲教職員アンケートにおいて、GTを招いた授業をたくさん行っているのにB評価にとどまっています。【教1-3】

▲地域行事に関して、中期ブロックと後期ブロックで評価の差があります。【児生13】

▲前期ブロックでは、「保護者の声を受けとめ、丁寧に対応している」の評価が十分な結果になっていません。【保9】

《改善策》

◇たくさん行っているが、「効果的」かどうかのポイントである。次年度の予定を決めて、GTを入れる計画をたてます。

◇行事が減っているが、コロナ禍で仕方のないこと。

「行かない」ことは感染予防策としても悪いことではない。もう少し様子を見たいです。(質問の仕方を変えることも視野に入れます。)

◇少人数の利点を生かして、個別に話を聞き受けとめて共通理解をもつ機会を作っていきます。



(5) プロ意識をもち、信頼される教師集団

▲働き方改革について、評価が上がりましたがB評価にとどまっています。【教Ⅳ-3】

▲校内研修や学校評価は、改善に役立っています。【教Ⅱ-6】

▲授業はわかりやすいと感じているようですが、後期ブロックで伸びきっていません。【児生4】

▲前期ブロックにおいて、内面に迫った指導が不足しています。【保7】

《改善策》

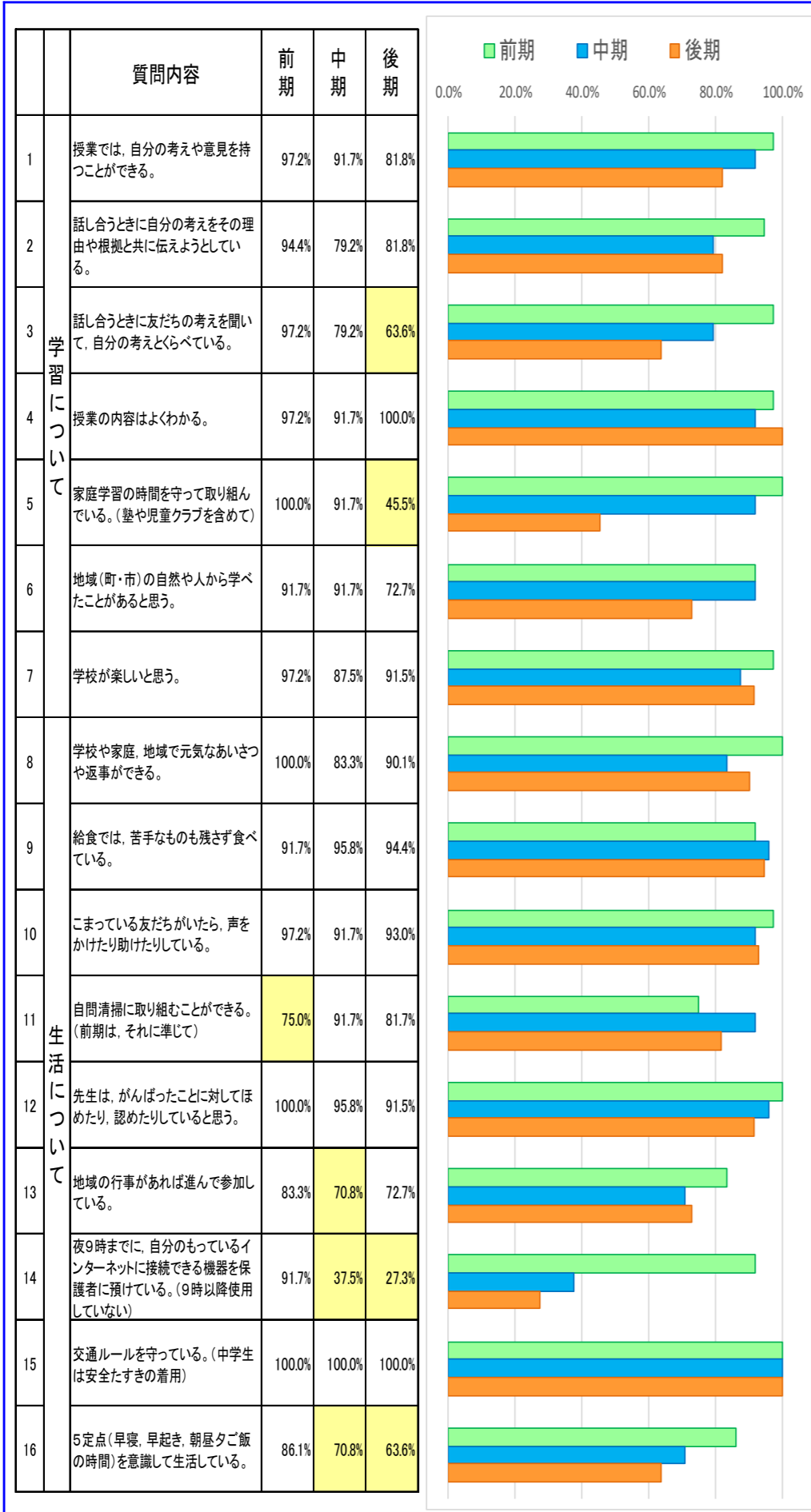
◇働き方改革について、さらに具体的な方法を採用しなければなりません。

◇わかりやすいことも大切ですが、結果(点数)にもつながるように改善をしていきます。発表会ではない授業参観の場を設定することも視野に入れています。

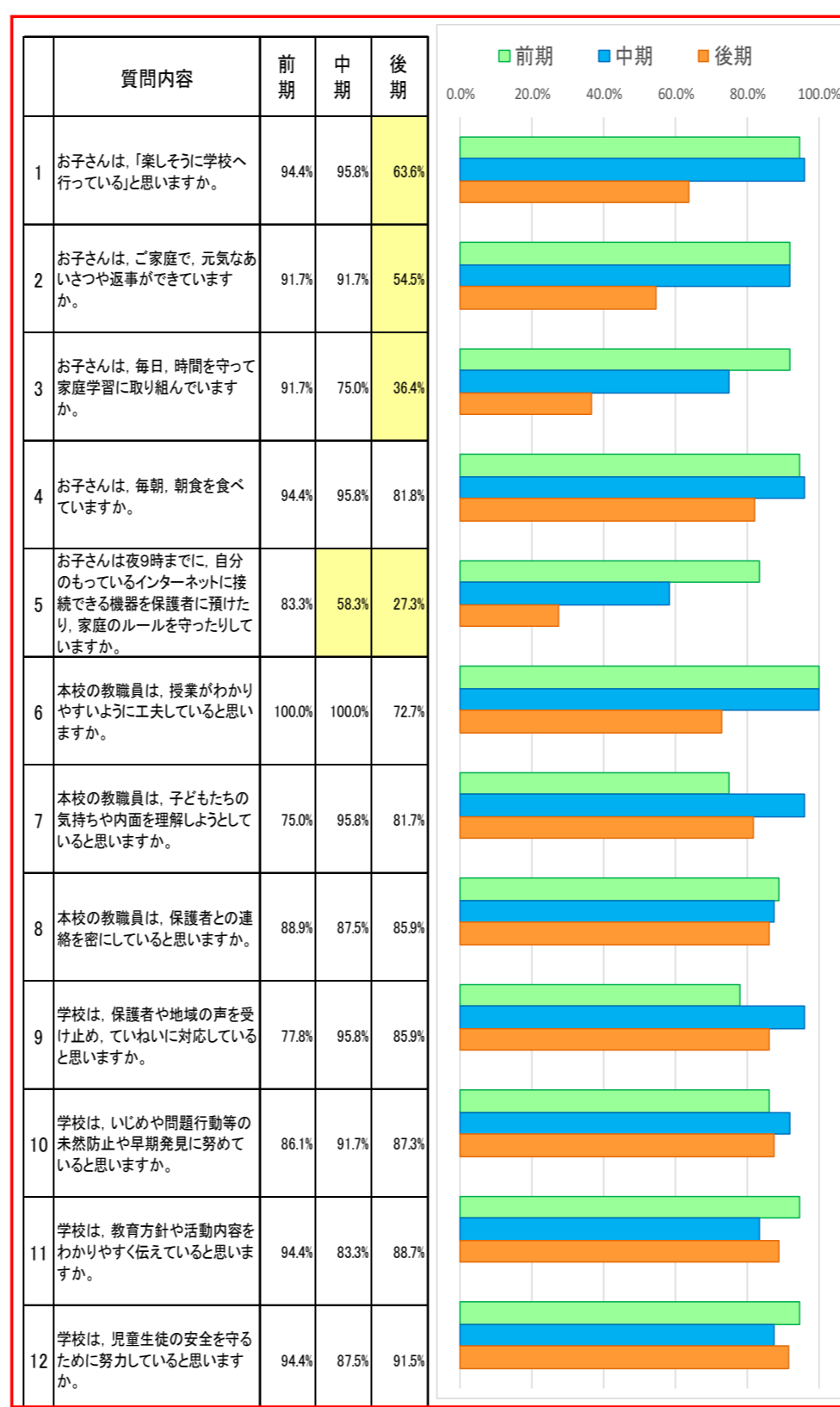
◇担任だけでなく、他の先生方と分担して、子どもの話を一人一人落ち着いて話を聞いてあげる場面を作ります。



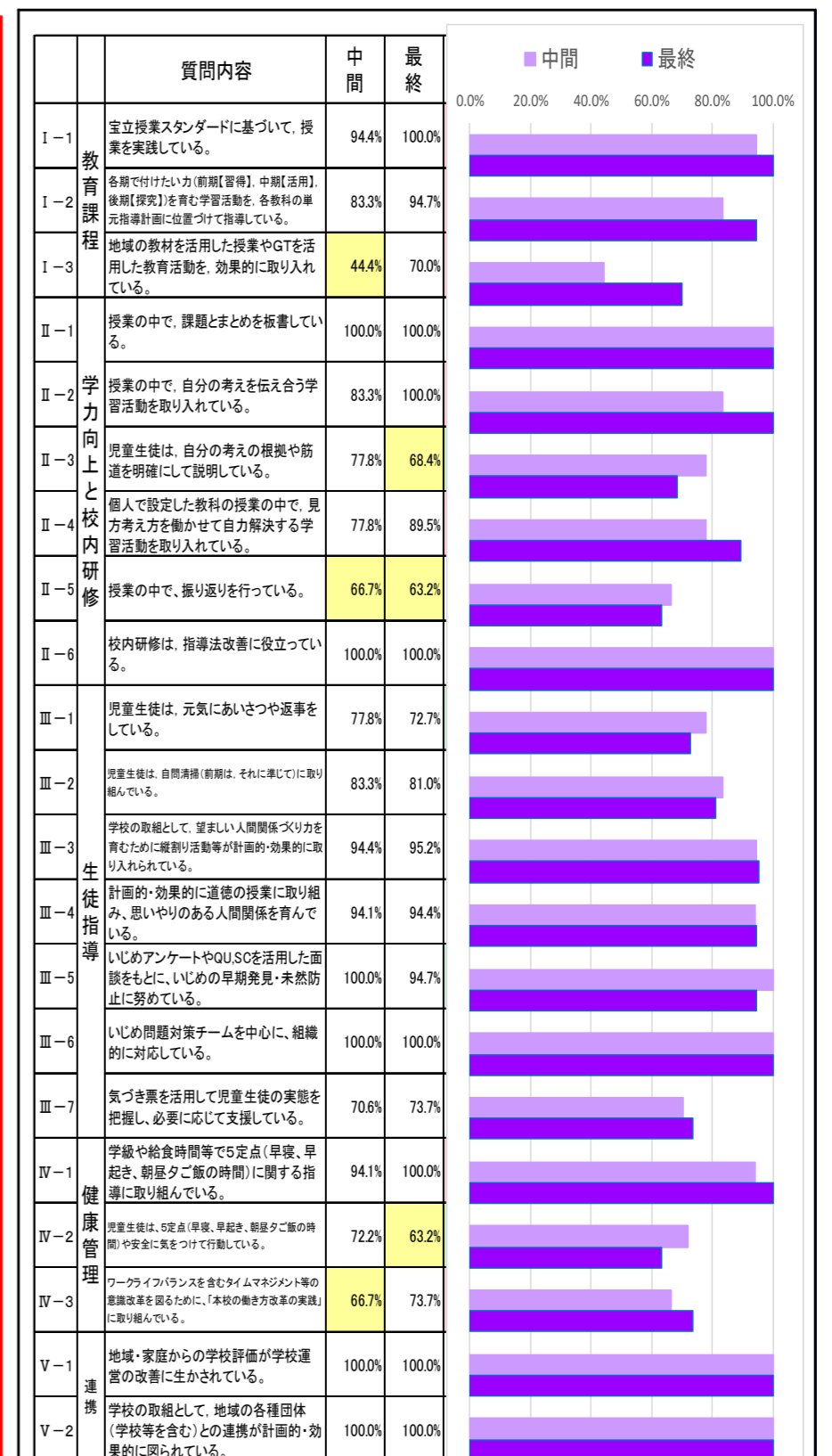
児童生徒アンケート結果



保護者アンケート結果



教職員アンケート結果



肯定的に回答(4または3を選択)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のようにアンケート結果を評価しています。また、○評価と判定した項目(色つき)については指導・改善を要する内容にとらえ、速やかに改善策を考え対応していきます。

- ☆児童生徒アンケート A(4または3が前期:95%、中期:90%以上、後期:90%以上) B(前期:80%、中期:75%、後期:70%以上) C(それ以下)
- ☆保護者アンケート A(4または3が90%以上) B(70%以上) C(それ以下)
- ☆教職員アンケート A(4または3が90%以上) B(70%以上) C(それ以下)

